

2018年10月5日
第一フロンティア生命保険株式会社

「UCDAアワード2018」において「特別賞」を受賞

第一フロンティア生命保険株式会社(社長:武富 正夫)は、優れたコミュニケーションデザインを表彰する「UCDAアワード2018」の生命保険分野、ご契約内容のお知らせ部門において「特別賞」を受賞しました。

本賞は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(以下、UCDA)が、独自の視点や特徴的な評価結果を持つ企業・団体に贈るものです。

第一生命グループは「一生涯のパートナー」のグループミッションのもと、2017年3月に「お客さま第一の業務運営方針」を策定・公表しました。当社は、お客さま本位の具体的な取組みの一環として、お客さまの声の分析や代理店のご意見・ご要望の収集による、パンフレットなどの販売資料やお客さま向け通知などのわかりやすさ向上に向けた改善に取り組んでいます。さらに、第三者(外部機関)による評価の反映やノウハウの収集・共有化の観点から、UCDAによるコンサルティングを受け、UCDA認証「伝わるデザイン」取得に向けた改善取組みを進めるとともに、UCDA認定資格を多くの従業員が取得するなど、従業員一人ひとりがお客さま目線を持ち業務に取り組んでいます。

今回、文言の平易化や専門用語の解説を設けるなど、複雑な情報をわかりやすく伝える工夫が随所に見られることや、高齢者の視点からも内容が理解しやすくと高く評価されたことを受け、本賞の受賞に至りました。

当社は今後も、より質の高いサービスのご提供を通じ、お客さまから選ばれ続ける保険会社となるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。

以上

■一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA)

2007年に設立された、産業・学術・生活者の集合知による客観的な評価基準を用い、第三者機関として「見やすく、わかりやすく、伝えやすく」の観点から評価・認証を行う団体です。

■UCDAアワード

UCDAが主催する、企業(団体)・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の知見により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

